

日本混相流学会 2011 年度第 3 回理事会・議事録

日時： 2011 年 12 月 17 日（土） 13:30-17:20

場所： 龍谷大学大阪梅田キャンパス

出席者：

佐田富道雄（会長）、秋本肇（筆頭副会長）、富山明男（副会長）、小泉安郎（副会長）、木倉宏成（情報部会長）、齊藤泰司（企画部会長）、大川富雄（国際部会長、関西地区担当）、川原顕磨呂（総務部会長、九州地区担当）、河合秀樹（理事、北海道地区担当）、中野政身（理事、東北地区担当）、市川直樹（理事、関東地区・学生会担当）、内山知実（理事、東海地区担当）、服部修次（理事、北陸・信越地区担当）、加藤泰生（理事、中国・四国地区、OMF 担当）、加藤健司（選挙管理委員長）、呉田昌俊（総務部会委員）、河原全作（年会講演会 2011 総務）、近藤健（事務局長）

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2011-3-01]
2. 総務部会報告
  - 評議員候補および監事候補の選任について [資料 2011-3-02]
  - 日本工学会フェローの推薦について [資料 2011-3-03]
  - 協賛について [資料 2011-3-04]
3. 情報部会報告
  - 編集委員会報告 [資料 2011-3-05]
  - 二重投稿について [資料 2011-3-06]
4. 企画部会報告
  - 研究企画委員会報告 [資料 2011-3-07]
  - 混相流レクチャーシリーズ 37 報告 [資料 2011-3-08]
  - 混相流技術リエゾン専門委員会 [資料 2011-3-09]
  - マイクロバブル・ナノバブルの標準化への道筋を検討する WG
  - 二相流ダイナミクスに関する日米セミナーについて
5. 国際部会報告
  - ・第 7 回混相流計測技術国際会議(ISMTMF 天津 2011)後の状況報告 [資料 2011-3-10]
6. 混相流年会講演会 2012・混相流シンポジウム準備状況 [資料 2011-3-11]
7. 学生会セミナー2012 準備状況 [資料 2011-3-12]
8. 混相流年会講演会 2011・混相流シンポジウム報告 [資料 2011-3-13]
9. OMF2011 報告 [資料 2011-3-14]
10. その他
  - 東日本大震災の復旧・復興に関するシンポジウムについて [資料 2011-3-15]
  - 次回理事会日程について

2012 年 3 月 3 日（土） 東京工業大学原子炉研究所

議事：

### 1. 前回議事録の確認

- ・川原総務委員長から資料 2011-3-01 に基づき 2011 年度第 2 回理事会議事録（案）の確認があり、2 箇所の数字の修正後、案を承認した。

### 2. 総務部会報告

評議員候補および監事候補の選任について

- ・資料 2011-3-02 に基づき、川原総務部会長から第 26 期の候補者リストの説明があり、候補者を確定した。

日本工学会フェローの推薦について

- ・資料 2011-3-03 に基づき、川原総務部会長から日本工学会フェローの推薦に関する説明があった。佐田富会長から推薦候補者の提案があり、承認された。佐田富会長から候補可否の伺いを立てることになった。

協賛について

- ・資料 2011-3-04 に基づき、川原総務部会長から「異業種交流会「OpenFOAM 講習会」(主催：日本鉄鋼協会)」を協賛することが報告された。

### 3. 情報部会報告

編集委員会報告

資料 2011-3-05 に基づき、木倉情報部会長(一部、林事務局員)から編集委員会の活動説明があった。

- ・林事務局員から J-Stage3 新システム移行説明会への出席、新システムのメリット、本会の対応状況についての説明があった。
- ・論文投稿状況の説明があり、論文投稿数の増加対策として、小泉副会長より OMF の発表論文の特集号、および研究企画委員会の各研究分科会が企画する特集号を設けることの提案あり、了承された。合わせて木倉情報部会長より理事が積極的に投稿するように依頼があった。
- ・学会誌「混相流」の巻頭言の執筆者について、会員にとって魅力のある記事を書いていただける方であれば非会員であっても良いことが確認された。
- ・年会講演会、講習会、OMF への記事の投稿規定をつくる必要性が出され、他学会のものを参考にし編集委員会で作成することになった。
- ・投稿規定の改定についての案が提示され、最終版をメールで送って承認をとることにした。
- ・学会 25 周年記念特集企画(案)について：

学会誌「混相流」2012 年 9 月号および 12 月号における学会 25 周年記念特集企画の内容について編集委員会で検討中の案が説明された。内容に対して次の事項が確認された。

/海外からの祝辞について、富山副会長と大川国際部会長から海外の名誉会員等に依頼していただくことにした。

/学生会担当による若手研究者の育成に対する取り組みについての記事に関し、ICMF の渡航費補助者、学生優秀講演受賞者のその後の活動状況について市川学生担当理事と事務局で調査を行っていただくことにした。

/過去 25 年を振り返り今後を見通す「技術的なレビュー原稿」について、混相流研究が多分野の研究の融合であるとの視点を出し、今後の学会活動のロードマップを考える意味で、化学工学、土木工学、機械工学、原子力工学、資源工学、医療・バイオ、粉体工学の 7 分野ごとに見た混相流

研究についての記事を掲載することが提案され、了承された。また、各分野の記事は4~6ページとし、各分野の記事の執筆候補者が挙げられた。

/二相流ダイナミクスに関する日米セミナーの中で開催される特別セッション(詳細は4. を参照) についての記事を入れることが提案され、承認された。

#### 二重投稿について

- ・資料 2011-3-06 (会議後、回収) に基づき、近藤事務局長より「混相流」誌に掲載された論文について他学会から著作権譲渡日についての問い合わせの経緯が説明された。本学会誌に掲載された和文論文の他誌への英文翻訳投稿は妨げないとの結論になった。これに関し、投稿規定の「2. 著作権など」の文章を改訂することとした。

#### 4. 企画部会報告

##### 研究企画委員会報告

- ・資料 2011-3-07 に基づき、川原総務委員長(研究企画委員会幹事)から研究企画委員会の各分科会からの2011年の活動状況(現状報告、今後の予定、要望事項)についての報告があった。

##### 混相流レクチャーシリーズ 37 報告

- ・資料 2011-3-08 に基づき、内山理事から混相流レクチャーシリーズ 37「混相流を伴う自然災害~ 数値解析の観点から現象を捉える~」(開催日 2012年2月28日)の開催案内について説明があった。

##### 混相流技術リエゾン専門委員会

- ・資料 2011-3-09 に基づき、齊藤企画部会長から「マイクロバブル・ナノバブルの標準化への道筋を検討するWG」の委員リストが提示され、これを確認した。

##### 二相流ダイナミクスに関する日米セミナーについて

- ・富山副会長から「二相流ダイナミクスに関する日米セミナー」(開催日 2012年6月7-12日)の中で6月11日(月)に開催される特別セッション(福島原子力発電所の事故を受けての混相流研究の在り方についてのディスカッション)を日米セミナー実行委員会と混相流学会との共催にすることの依頼があり、共催を承認した。また、本学会から特別セッションの経費(講師謝金等)を出すことを承認した。

#### 5. 国際部会報告

- ・資料 2011-3-10 に基づき、大川国際部会長から第7回混相流計測技術国際会議(ISMTMF 天津 2011)後の状況報告があった。

#### 6. 混相流年会講演会 2012・混相流シンポジウム準備状況

- ・資料 2011-3-11 に基づき、市川理事から「日本混相流学会年会講演会 2012」および「第31回混相流シンポジウム」の準備状況について報告があった。これに関連し、学会設立25周年の企画を何らかの形で年会講演会あるいは混相流シンポジウムの中に入れることを岡本孝司実行委員長に依頼、検討していただくことにした。
- ・混相流シンポジウムに関しては、佐田富会長より学術会議への提案のタイミングを外さないためには、シンポジウムの企画内容をいつまでに固めれば良いかを機械工学委員会の松本洋一郎先生に聞

くようにとの付言があった。

#### 7. 学生会セミナー2012 準備状況

- ・資料 2011-3-12 に基づき、市川学生会担当理事から 2012 年の学生会セミナーの準備状況が報告された。開催日がお盆の時期になるので、各理事に学生への参加の呼び掛け依頼があった。

#### 8. 混相流年会講演会 2011・混相流シンポジウム報告

- ・資料 2011-3-13 に基づき、混相流年会講演会 2011 の河原全作総務委員から「混相流年会講演会 2011」および「第 30 回混相流シンポジウム」の終了報告および会計報告があった。

#### 9. OMF2011 報告

- ・資料 2011-3-14 に基づき、小泉副会長（OMF2011 実行委員長）から「第 15 回オーガナイズド混相流フォーラム（OMF2011）テーマ：相変化を含んだ界面現象---実験と数値解析の最先端---」の開催および会計の報告があった。なお、川原総務委員長が会計監査をすることとした。今後への提案ならびに課題として、OMF のテーマ選択に当たっては研究企画委員会の各分科会に相談し、企画実施するやり方、OMF で発表された論文を題材として学会誌の特集号を企画する、発表資料の著作権の取り扱い等が挙げられた。そして、本 OMF では講演者に配布資料の公開扱いに関する同意書をとっていることが紹介された。

#### 10. その他

東日本大震災の復旧・復興に関するシンポジウムについて

- ・資料 2011-3-15 に基づき、中野理事から「東日本大震災の復旧・復興に関するシンポジウム（案） - 環境・都市再生を目指した復興に向けて」の開催提案があった。5 つの講演内容と講演候補者（案）が提示され、審議の結果、混相流学会の主催、および予算措置が承認された。上記の内容に加えて、木倉情報部会長から海洋の汚染を含めてはとの意見が出され、講演候補者に伺いを立てていただくことになった。開催場所は、福島市内を第一候補とした。開催日は、佐田富会長、秋本副会長、講演者の都合を勘案して 3 月中の土曜日あるいは日曜日に実施することが承認された。
- ・本シンポジウムの内容を学会誌「混相流」の 2012 年 6 月号の震災後 1 年特別企画に含めてはとの意見が出され、これを了承した。そこで、講演者には講演に加えて原稿の執筆をお願いしてみることになった。

次回理事会日程について

第 3 回理事会は 2012 年 3 月 3 日（土） 東京工業大学原子炉研究所にて開催することにした。

以上

総務委員長 川原 顕磨呂